

令和4年福岡市学習定着度調査(4・5年生)の結果について

9月3日に実施した福岡市学習定着度調査(4・5年生)の結果の概要についてお知らせします。校内で分析をしながら日々の授業改善に役立てていくとともに、来年度の確かな学力の向上の取組にも活かしていきます。

福岡市学習定着度調査(4年生)

○ 国語 — ②【福岡市平均と比べて、やや上回っている】

* すべての問題で福岡市平均を上回っていて、特に「言語についての知識・理解・技能」や「読むこと(説明的文章)」では、福岡市平均をかなり上回っています。

○ 算数 — ③【福岡市平均と比べて、同程度である】

* 「整数・小数の計算、おつりを求める文章題など」や「数のしくみ、数の構成」、「あまりのあるわり算」の問題は、福岡市平均と同程度であるものの、その他の問題はすべて福岡市平均を上回っています。

福岡市学習定着度調査(5年生)

○ 国語 — ①【福岡市平均と比べて、上回っている】

* すべての問題で福岡市平均を上回っていて、特に「読むこと(文学的文章)」や「読むこと(説明的文章)」では、福岡市平均をかなり上回っています。

○ 算数 — ②【福岡市平均と比べて、やや上回っている】

* 「小数・分数の計算、何倍かを求める文章題」や「図形の面積・体積」、「比例」、「合同な図形」の問題は、福岡市平均と同程度であるものの、その他の問題はすべて福岡市平均を上回っています。

今後の取組

- 算数の授業などにおいて、学級担任と専科教員とがさらに連携を深めながら、日々の授業改善に取り組んでいきます。また、課題解決に向けて自分で考え、自分から取り組もうとする意識を高めながら、各教科の特性に応じた有用感を味わわせる授業づくりを心がけていきます。
- 様々な学習において、交流活動や話し合い活動、学習したことの振り返りを大切にしていきます。

